



▲市内のコースを歩いて、岩沼の新しい魅力を見つけてみませんか

みちのく潮風トレイルとは、青森県八戸市から福島県相馬市までの海岸線を中心に設定された「歩くための一本の道」です。東日本大震災の後、環境省の復興事業「グリーン復興プロジェクト」の一つとして進められ、自然や景観を大切にすることや震災の記憶の伝承を目的として作られてきました。

6月9日

みちのく潮風トレイル 全線開通しました

「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター」がオープン



4月に名取市閉上に完成しました。さまざまな情報を発信していくほか、どなたでも自由に使える交流スペースを完備しています。

全長1000^キを超えるこのロングトレイルの特徴は、東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海、川、里、森と連続する美しい景観です。市内には、千年希望の丘や長谷釜の大銀杏など、沿岸部の被災地域を通るコースが整備されています。市民の憩いの場として親しまれている岩沼海浜緑地やいわぬまひつじ村では、潮風トレイルを訪れた方と地元の方との交流が期待されます。

6/1

「みちのく潮風トレイル全線開通記念 ウォークラリーinいわぬま」を開催しました



当日は、市内外から約70人が参加。仙台空港から南に向かって出発し、二野倉からは西進して岩沼駅までの全長約12^キのコースを歩きました。参加者は、スタッフによる観光や復興の解説に耳を傾けつつ、千年希望の丘の園路などから海を眺めたり、いわぬまひつじ村の羊と触れ合ったりと、心地よい汗をかきながら岩沼のコースを満喫したようでした。



※詳しくは、みちのく潮風トレイル公式ホームページをご覧ください。
問／環境省東北地方環境事務所（☎022-1722-2874）
名取トレイルセンター（☎0222-398-6181）